

夏こそ！ …いや。9月だけど。

怪談特集

8月の猛暑を乗り切ったものの夏の暑さは9月も続きます。
夏の暑さに耐えられない！そんなときこそ
身の毛もよだつホラー小説！

読んで涼んでみてはいかがでしょう。。。

日本ホラー小説の王道



01 黒い家

貴志祐介 [KADOKAWA]

貴志祐介さんの代表作にしてホラー小説定番の一作。顧客の家に呼ばれ、子供の首吊り死体の発見者になってしまった保険会社社員・若槻は、顧客の不審な態度から独自の調査を始める。それが悪夢の始まりだった。

知る人ぞ知る、最恐ホラー!!



02 拝み屋怪談 怪談始末

郷内心瞳 [KADOKAWA]

語るものが、おそらく供養にもつながる。戸の隙間から覗く痩せこけた女。著者につきまとう謎の少女。決して語ってはならない封印怪談。東北の山中で拝み屋を営むかたわら見聞きした、鮮烈な怪異を書き上げる。“最恐”の実話怪談集。

筆者イチ推し！
一気読み間違いなし！



03 ぼぎわんが来る

澤村伊智 [KADOKAWA]

第22回日本ホラー小説大賞の大賞を受賞。衝撃のデビュー作。それが来たら、絶対に答えたり、入れたらあかんてー。幸せな新婚生活を営んでいた田原秀樹の会社に、とある来訪者があった。それから

身の回りで起こる様々な怪異。一連の怪異は、亡き祖父が恐れていた“ぼぎわん”という化け物の仕業なのだろうか？ 怪談・都市伝説・民俗学——様々な要素を孕んだノンストップ・ホラー！

妖怪× ミステリー!!



04 地獄くらやみ 花もなき

路生よる [KADOKAWA]

22歳にして人生に絶望する遠野青児(とおのせいじ)は、辿り着いた洋館で運命の出会いを果たし、代行業を営んでいるという皓のもとでなぜか助手として働くことに。代行業、それは化け物に憑かれた罪人を地獄に送り届ける〈死の代行業〉だった。罪人を地獄に届ける謎の少年と世に絶望したニートの事件簿！